

## 輪を!



6月29日(月)から3日間、本校に3名の横山中学校2年生が職場体験に来てくれました。

「先生の仕事を体験する」そう聞くと、授業のお手伝いを思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、学校の仕事は授業だけではありません。この時期は、朝はプールの水温・気温・水質を測定するところから一日が始まります。授業では子供たちの学びを支え、休み時間には一緒に遊び、不調を訴える児童への対応、放課後にはテストの丸付けや作品掲示、保護者会資料の作成、保護者への連絡など、子供たちが安心して学校生活を送れるよう、一つ一つの仕事を丁寧に積み重ねています。

職場体験では、この学校という職場の一端を体験的に学びました。教員の仕事だけでなく、事務職員や用務主事の仕事も体験しました。学校だよりの封筒詰め、物品管理、施設の点検や修繕、草取りなどの環境整備、側溝にたまった泥の除去、破損した扉の修復……。学校は、多くの人たちの力が重なり合っ

て成り立っていることを、中学生は身をもって学んでくれました。

この3日間、毎朝欠かさずに、中学生は副校長先生と一緒に校長室へやって来ました。

まずは一人ずつ、その日の抱負を語りました。

「今日は子供たちとたくさん話します」

「笑顔であいさつをします」

「先生方の仕事を一つでも多く学びます」

「バモス!!」

自分の決意を校長室の場で申す姿は、さながら、サッカーワールドカップの試合直前のロッカールームです。3人とも気合が入っています。輪になり、円陣が完成します。今日も、エンジン全開です!!

「よし、行こう!」



校庭では、小学生と手をつないで遊び、困っている子がいればすぐに駆け寄ります。木の枝にボールが引っ掛かると、ただぼうっと見ているのではなく、長い棒を持ってきて、一生懸命にボールを落としてくれました。誰かが困っているときに、自分から動く。その姿を見ていた小学生の目は、憧れでいっぱいでした。3日間という短い時間でしたが、中学生の表情は日に日に変わっていきました。



(次頁に続く)



体験を終え、帰る前には一日の振り返りをします。そして、最後は小学校名物ともいえる「さよならジャンケン」をしました。副校長先生と3日間を締めくくるその姿は、一日をやり切った達成感、小学生との触れ合いを通して得た自信、そして「自分は誰かの役に立てた」という自己有用感が刻まれているように感じました。

その姿を見て、私がこの道を目指すきっかけとなったお世話になった恩師の言葉を思い出しました。

「人は人の中で人となる」

人は、人との出会いの中で育ちます。実際に顔を合わせ、共に汗を流し、笑い、語り合い、同じ時間を過ごす。その積み重ねが、人と人をつなぎ、子供たちの未来をつくっていくのだと思います。

横山中学校の3名の生徒は、

輪になり、手を重ね

輪になり、手をつなぎ 気持ちを通わせ

輪になり、共に汗を流し、力を合わせ

そして、その和を大切にする。

つまり、

「1に、輪を！」

「2に、輪を！」

「3に、輪を！」

「4はありますか？」と、問われたら、

「和を！」と答えるかもしれません。

児童・生徒、地域・保護者の皆さん、そして教職員、学校を支えてくださるすべての皆さんが輪になり、和をつくる。そんな地域、学校にしていきたいと思っています。



職場体験に来た3名の生徒!!今回は、小中一貫教育の取り組みの一つではありましたが、また、いつでも来てくださいね。

いえ、できれば……。

しょっちゅう 来てください。

散田小学校みんなで楽しみにしています。